

# Super-Twin の妊娠, 分娩, 成長, 発育に関する研究

## 歯科学的観察

日本大学医学部口腔外科

渡辺文夫

今回は、上下顎の発育、咬合状態、永久歯の萌出時期を、昭和57年1月26日より、昭和58年1月18日までの約1年の経過観察を行ない、次の結果を得た。

顔貌、上下顎骨の発育に関しては、時に異常所見はみられなかった。

咬合状態に関しては、現時点、不正咬合はみられなかった。

齲蝕に関しては、齲蝕は、萌出後2年以内に発生することが多いと云われているが、5つ子には、齲蝕は全くみられなかった。このことは、不正咬合の一誘因が否定されると同時に、将来の成長、発育に大変重要な意味をもっている。母親の口腔衛生への関心が深いことの現われである。

永久歯の萌出に関しては、通常、 $1|1$ は7~8才、 $1|6$ は6~7才、 $1|1$ は6~7才、 $2|2$ は7~8才、 $6|6$ は6~7才に萌出する。

57年1月26日(6才)時点では、

上顎は、全員、乳歯列弓で、下顎は  $1|1$  が萌出中であつた。

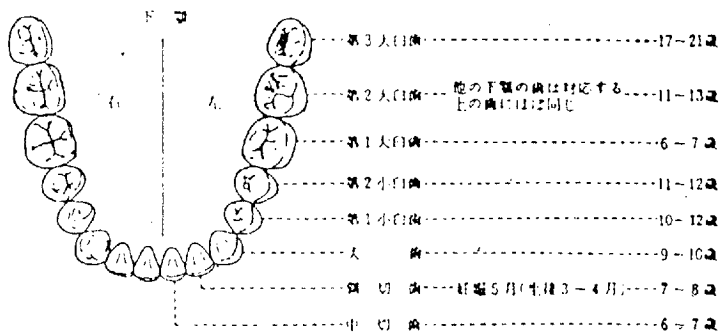
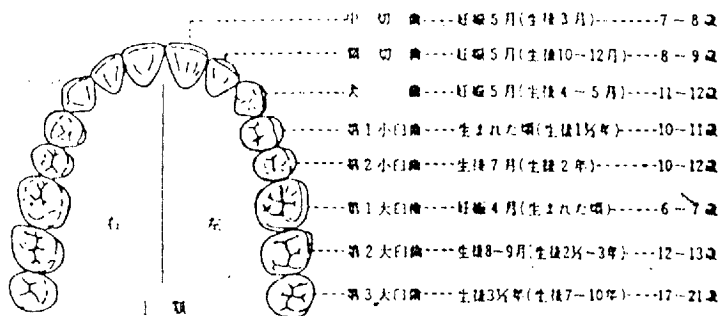
58年1月18日(7才)時点では、

上顎は、 $6|1|1|6$  が萌出中であるが、第3子(洋平)のみが未萌出(乳歯列のみ)で、約1年後、萌出遅延がみられた。下顎は  $6|2|1|1|2|6$  が萌出中であるが、第3子(洋平)のみが  $1|1$  だけ萌出中であつた。やはり、他の子供より約1年程、萌出遅延がみられた。(表)

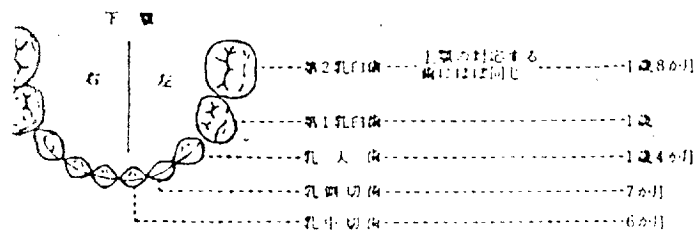
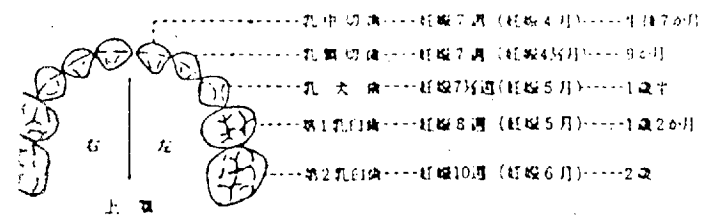
これから2~4年間は、混合歯列弓の時期、いわゆる“ugly duckling stage”と呼ぶ。みにくいあひろの時代に入る。この時に形成された体質は、そのひとの一生の体を左右すると云われている程、重要な時期である為、経過観察が必須である。

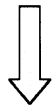
		57. 1. 26	57. 7. 13	58. 1. 18
福太郎	上顎	乳齒列	$\begin{array}{c} 1 \mid 1 \\ \hline 6 \mid \\ \hline \quad \mid 6 \end{array}$ 切端部のみ (類側面咬頭 方側近心) 咬合面部	$\begin{array}{c} 1 \mid 1 \\ \hline 6 \mid 6 \end{array}$ ½萌出 遠心辺縁隆線のみ未萌出 (歯肉がしおれている)
	下顎	$\begin{array}{c} \overline{1 \mid 1} \\ \hline \overline{2 \mid 2} \\ \hline \quad \mid 6 \end{array}$ ½萌出 切端部のみ 近心咬頭	$\begin{array}{c} \overline{1 \mid 1} \\ \hline \overline{6 \mid} \\ \hline \quad \mid 6 \end{array}$ 萌出 $\overline{2 \mid 2}$ ½萌出 (類側近心・遠心の一部 方側) 咬合面部	$\begin{array}{c} \overline{1 \mid 1} \\ \hline \overline{6 \mid 6} \end{array}$ 萌出 $\overline{2 \mid 2}$ ½萌出 遠心辺縁隆線のみ未萌出
寿子	上顎	乳齒列	$\begin{array}{c} \quad \mid 6 \\ \hline \quad \mid 6 \end{array}$ 咬合面部	$\begin{array}{c} 1 \mid 1 \\ \hline 6 \mid 6 \end{array}$ 切端部のみ 遠心辺縁隆線と歯肉が同じ高さ
	下顎	$\begin{array}{c} \overline{1 \mid 1} \\ \hline \quad \mid 2 \end{array}$ ½萌出 切端の一部萌出	$\begin{array}{c} \overline{1 \mid 1} \\ \hline \quad \mid 2 \end{array}$ ½萌出 切端の一部萌出	$\begin{array}{c} \overline{1 \mid 1} \\ \hline \overline{6 \mid 6} \end{array}$ 萌出 $\overline{2 \mid 2}$ ½萌出 遠心辺縁隆線部に歯肉がおおっている
洋平	上顎	乳齒列	乳齒列	乳齒列
	下顎	$\begin{array}{c} \overline{1 \mid} \\ \hline \quad \mid 1 \end{array}$ 切端部一部萌出	$\begin{array}{c} \overline{1 \mid 1} \\ \hline \quad \mid 1 \end{array}$ ½萌出	$\begin{array}{c} \overline{1 \mid 1} \\ \hline \quad \mid 1 \end{array}$ ½萌出
妙子	上顎	乳齒列	$\begin{array}{c} 1 \mid \\ \hline \quad \mid 1 \end{array}$ 切端の一部萌出	$\begin{array}{c} 1 \mid 1 \\ \hline 6 \mid \\ \hline \quad \mid 6 \end{array}$ ½萌出 遠心咬頭一部萌出他咬頭萌出 方側遠心咬頭一部萌出 遠心辺縁隆線未萌出
	下顎	$\begin{array}{c} \overline{1 \mid 1} \\ \hline \quad \mid 1 \end{array}$ ½萌出	$\begin{array}{c} \overline{1 \mid 1} \\ \hline \overline{2 \mid 2} \\ \hline \overline{6 \mid} \end{array}$ ½萌出 ½萌出 近心辺縁部のみ萌出	$\begin{array}{c} \overline{1 \mid 1} \\ \hline \overline{6 \mid} \\ \hline \quad \mid 6 \end{array}$ 萌出 $\overline{2 \mid 2}$ ½萌出 遠心咬頭のみ未萌出 " " "
智子	上顎	乳齒列	$\begin{array}{c} \quad \mid 6 \\ \hline \quad \mid 6 \end{array}$ 咬合面部	$\begin{array}{c} 6 \mid \\ \hline \quad \mid 6 \end{array}$ 遠心辺縁隆線のみ未萌出 " " " " "
	下顎	$\begin{array}{c} \overline{1 \mid} \\ \hline \quad \mid 1 \end{array}$ 切端向のみ萌出	$\begin{array}{c} \overline{1 \mid 1} \\ \hline \overline{6 \mid} \\ \hline \quad \mid 6 \end{array}$ ½萌出 遠心咬頭のみ未萌出 ( " " 一部) 萌出 他の咬頭	$\begin{array}{c} \overline{1 \mid 1} \\ \hline \overline{6 \mid 6} \end{array}$ ½萌出 $\overline{2 \mid}$ ¼ 萌出 萌出

永久歯の形成開始の時期 (石灰化開始の時期) 永久歯の 萌出期



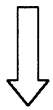
乳歯の形成開始の時期 (石灰化開始の時期) 乳歯の 萌出期





## 検索用テキスト OCR(光学的文字認識)ソフト使用

論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります



今回は、上下顎の発育、咬合状態、永久歯の萌出時期を、昭和57年1月26日より、昭和58年1月18日までの約1年の経過観察を行ない、次の結果を得た。

顔貌、上下顎骨の発育に関しては、時に異常所見はみられなかった。

咬合状態に関しては、現時点、不正咬合はみられなかった。

齲蝕に関しては、齲蝕は、萌出後2年以内に発生することが多いと云われているが、5つ子には、齲蝕は全くみられなかった。このことは、不正咬合の一誘因が否定されると同時に、将来の成長、発育に大変重要な意味をもっている。母親の口腔衛生への関心が深いことの現われである。